未来への責任。

さいとう

武次郎

市政報告

タケの子かわら版

災害関連死を含め64名

復興への誓いを新たに追悼式を開催

議長として追悼の挨拶をする武次郎

未曽有の災害から一年を迎え、災害関連死を含め、お亡くなりになった62名(2019年8月末現在では64名)の方々を追悼するとともに、復興への決意を新たにするため、7月6日に追悼式が開催され、武次郎が追悼の挨拶をしました。

終了後、災害の記憶を後世に伝えようと、真備支所の中庭に建立された碑の除幕も行われました。

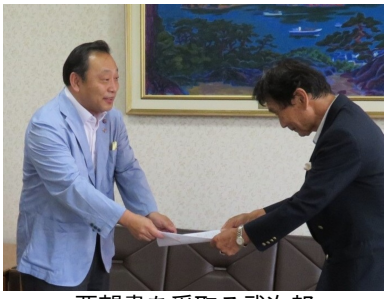
LINE@友達登録

除幕式に参加する武次郎

り災者の会から要望を受ける

8月21日に、り災者の会から仮設住宅居住期間の延長、みなし仮設住宅からみなし仮設住宅への転居を認める要望を受けました。

要望実現向けて、内閣府等への要望活動を頑張っています。



要望書を受取る武次郎

もっと繋がりたい!　LINE@のお友達登録をお願いします

被災地復旧・復興に向けて東奔西走

8月末現在で仮設住宅に6,053人

8月末現在で、自宅と土地を担保に住宅資金の融資を受ける「リバースモーゲージ」ローンの申請は56件。

また、建設型仮設住宅209戸に497人、みなし仮設住宅2,132戸に5,556人の合計、6,053人の方が仮の住まいでの生活を余儀なくされています。

みなし仮設住宅からみなし仮設住宅へ
規制緩和を求めて東奔西走!

みなし仮設住宅担当の内閣府に要望

復興大臣に要望

市政懇談会で地元選出国会議員に要望

中核市議会議長会で要望

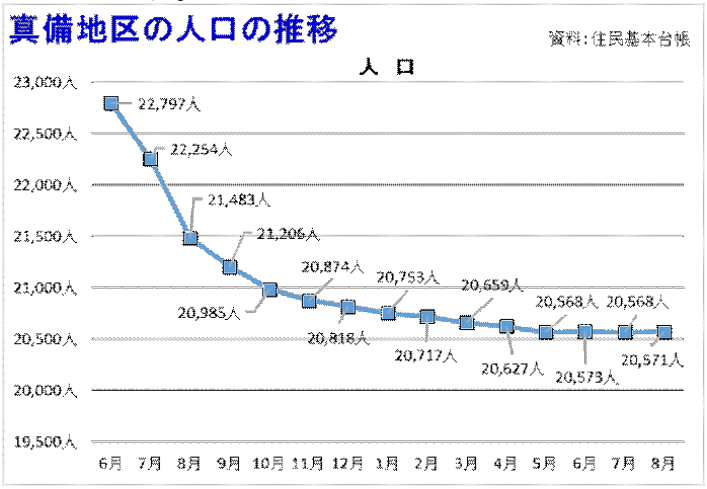
武次郎は、遠方のみなし仮設住宅での生活を余儀なくされている被災者の皆さんが、真備地区のみなし仮設住宅に転居できるようにすべきと考えています。

そのため、ありとあらゆる機会に、規制緩和を求めて要望活動を行っています。

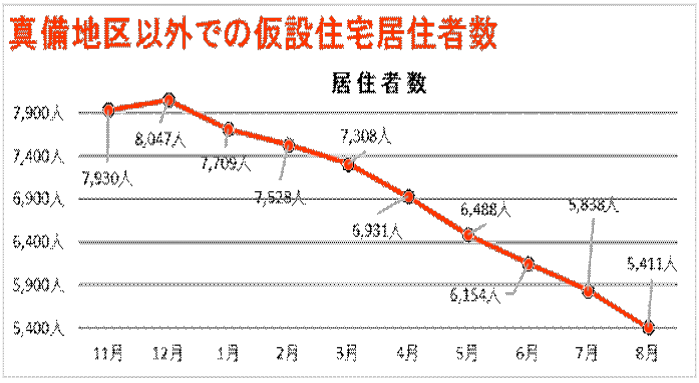
地元選出国会議員を招いての市政懇談会をはじめ、復興大臣、国会議員、みなし仮設住宅担当の内閣府、文部科学省(通学に長時間を要し、家庭学習時間の確保ができず、基礎学力の低下が懸念される旨を訴え)、中核市議会議長会等で、懸命に訴えました。実現に向けて頑張ります。

真備地区の人口は発災前の66%？

8月末現在で、住民基本台帳上では、真備地区の人口は、20,571人で、発災前(22,797人)の90.2%です。

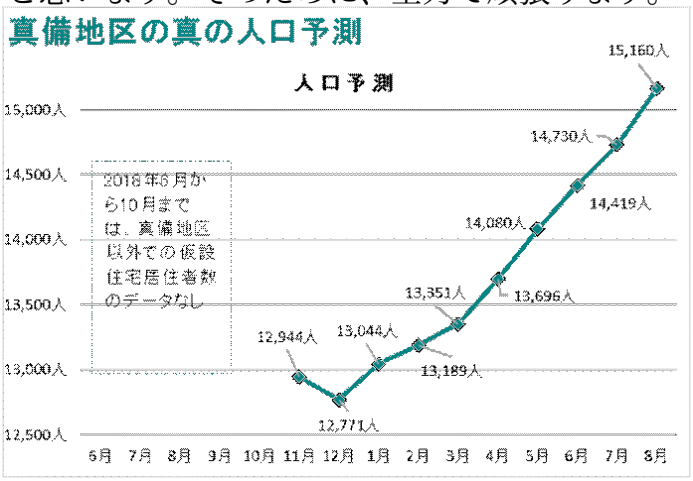


しかし、真備地区以外での仮設住宅に居住している人は、5,411人です。



仮に、この方々が住民票を真備地区に残して、仮住まいしていると仮定すると、真備地区に実際に居住している人は、15,160人と推測され、発災前の66.5%となります。

真備地区の復興のためには、被災された皆さんに、真備地区に居住してもらうことが必要だと思います。そのために、全力で頑張ります。

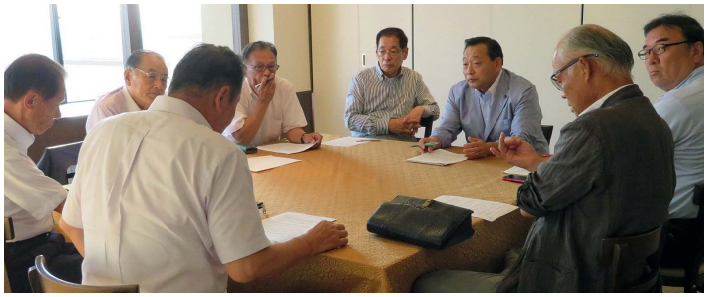


被災地復旧、復興、被災者の生活再建に向けた取り組みについてのご意見をお聞かせください

議長会の活性化、改革に取り組む!

高梁川流域８市の議長で意見交換会を初開催

高梁川流域の８人の議長全員で意見交換会を開催



岡山市議会議長と連携を誓う

早島・矢掛町議長と懇談

武次郎は、議長会等で活発な議論ができないことに違和感を感じていました。

そこで、武次郎が高梁川流域8市議長会のメンバーである議長に呼び掛けて、意見交換会を開催しました。

今後、連携を深め、岡山県市議会議長会等に、8市共同で要望事項を提案するなど、議長会活性化を行おうと意見が一致しました。

この意見交換会を受けて、武次郎は浦上岡山市議会議長を訪ね、議長会の活性化や岡山市と倉敷市の連携について話し合いました。

武次郎からの提案に賛同してくれ、連携を誓い合いました。

また、高梁川流域の早島町と矢掛町の議長とも懇談し、連携していくことで意見が一致しました。

議長としても周辺自治体と連携していきます。

9月補正予算一般会計は87億円

災害関連経費の累計は477億円

9月議会が9月3日から10月2日まで開催されました。9月補正予算は、一般会計で44億4,913万円で、累計2,032億5,845万円(対前年度比112.0%)になります。全会計では、累計3,956億8,695万円(対前年度比111.2%)になります。

【主な予算】

平成30年7月豪雨災害関連経費　26億4,101万円

平成30年7月豪雨以降の災害関連経費の累計は476億8,487万円
（倉敷市の実質的な負担は120億8,976万円）

・幼児教育・保育無償化経費　7億3,087万円

2019年10月1日から、幼児教育・保育の利用料が無償化されるための経費。

対象：3～5歳の子ども
　　0～2歳の子ども（住民税非課税世帯）

・浸水対策事業費　1億1,9000万円

緊急自然災害防止対策として、大西排水機場、福田呼松第2排水機場、松江生姫第3排水機場、久々井排水機場の改修工事を行う経費。

真備地区に復興防災公園整備へ!

真備地区の復興のシンボルとして、小田川の堤防沿いに「災害時の防災拠点や防災教育の場となり、住民が川と親しみ集える場、真備の魅力を発信できる場等として活用できる」復興防災公園(仮称)を整備する方針が示されました。

災害公営住宅を箭田30戸、有井20戸

アンケート調査の結果、災害公営住宅を希望する人と検討中の人を合わせると、最大125戸が必要となることがわかりました。

それに伴い、倉敷市は川辺地区に40戸程度に加えて、新たに箭田地区に30戸程度、有井地区に20戸程度を整備することが発表されました。

9月補正予算についてのご意見をお聞かせください

武次郎の♡活動トピックス

市民対話集会

流しそうめんでママさんと交流

リズムジャンプ体験会を開催

真備町の訪問を続ける

災害ゴミ処理場を視察

障がい者団体と要望活動

発達障がい児ケアを県に要望

地元町内会夏祭り

夏祭りにボランティア参加

通学路改善現地調査

通学路改善要望活動

天領夏祭りで審査員を務める

水島港まつりで審査員を務める

東京ふるさと会役員さんと懇親

五輪事前キャンプ歓迎夕食会

全国競艇主催地議会会長に就任

ジーンズ議会

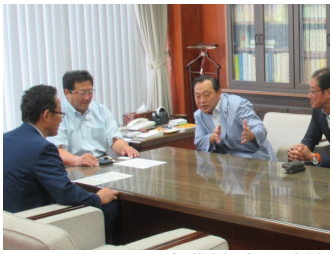
国体壮行式

社会を明るくする運動啓発活動

行政視察歓迎挨拶

院展開会式

書道展表彰式


県正副議長に医療費補助を陳情

小田川合流点付替工事着工式

県知事に被災地支援陳情

国土交通省への要望活動

国会議員への要望活動

〒712-8046 倉敷市福田町古新田781-8　TEL(086)450-0555　Fax450-0556　Email:info@takejiro.net